

## 主な祭日

歳旦祭（二月二日）、大祓（六月三十日、十二月三十一日）、更衣祭（七月七日）、例大祭（十二月十九日）、鎮火祭（旧十二月二日）、除夜祭（十二月三十一日）、

## 特殊神事 更衣祭（七月七日 七夕祭）

御祭神コノハナサクヤヒメノミコトと天孫ニニギノミコトが縫初川でお見合され、事勝国勝長狭神の仲人によりお嫁入りされた古事そのままのお姿をおつくりする神事で、婚礼衣裳をサクヤヒメの御神像にお着せし、白粉や口紅でお化粧、角隠しの御被衣を飾り付け花嫁姿になられる有様を行うゆかしい神事です。

## 境内の社

大山祇神社（御祭神 大山津見命）  
八坂神社（御祭神 須佐之男命）  
霧島神社（御祭神 瓊杵命）  
四所神社（御祭神 磐長姫命他三柱）  
稲荷神社（御祭神 宇迦之御魂命）

## 御神徳

御祭神コノハナサクヤヒメノミコトは、天孫ニニギノミコトとの御結婚に際し、事勝国勝長狭神の媒酌によったとされ、三人の皇子を出産され、立派にお育てになったことから、縁結び、安産、子育てと女性に縁の深い御神徳があるとされています。



左:霧島神社 右:四所神社



大山祇神社(西都市文化財指定)



稲荷神社



八坂神社



〒881-0033

宮崎県西都市大字妻1番地

TEL(0983)43-1238

FAX(0983)43-1391

日本の心のふるさと西都



延喜式内社  
日向二之宮

都萬神社

縁結び・安産・子育ての神



TSUMA

# 御由緒

御創建の年代は定かではないが、当神社が始めて史書にみえるのは「続日本後紀」で、仁明天皇承和四年(八三七年)八月の条に「日向国子湯郡妻神、官社に預かる」とあり、また、「三代実録」の天安二年(八五八年)の条にも神階昇格の記載がある。更に平安時代初期に編纂された延喜式神名帳には、日向国四座の内児湯郡二座として、都農神社とともに都萬神社が記載されており、当神社が、式内社といわれる所以である。中世から近世にかけて、当地方を治めた伊東氏、島津氏ともに供田を献じ、社領を安堵するなど尊崇の誠を示している。その後、明治六年県社に列せられ、明治四十年神饌幣帛料供進指定を受けるなど古来からの尊崇は明治以降も衰えることはなかった。

# 御祭神神系譜



# 日本一の大大刀

上古第十二代景行天皇熊襲御親征のため都於郡高屋行宮に駐ませ給うた時御太刀を奉獻、賊徒平定を御祈願されたことに倣って宝徳三年(二四五〇年)日下部成家が奉納したと伝えられています。  
 (全長約三・五四m)

# 千年楠の洞洞本

大楠の一部で作られた木洞で慎み・畏まる・通るの意から洞洞木と命名  
 夢かなう 幸せ招く  
 願いかなう 未洞

# 都萬神社の大クス

樹齢約三三〇〇年という大クス、「妻のクス」として国指定の天然記念物になっています。

# 恋にやさしい縁結びの神

水が自然に湧き出ている泉、滑らかな大きい石をなでると子宝に恵まれるという言い伝えがあります。

# 日本清酒 発祥の地

コノハナサクヤヒメノミコトは、米で味のよい天甜酒を醸し、三皇子誕生をお祝いしたといわれています。

# 都萬神社 境内のご案内



- ① 御社殿(本殿・幣殿・拜殿)
- ② 大山祇神社
- ③ 霧島神社
- ④ 四所神社
- ⑤ 八坂神社
- ⑥ 稻荷神社
- ⑦ 乳神
- ⑧ 参集殿
- ⑨ 祓所
- ⑩ 手水舎
- ⑪ 社務所
- ⑫ 千年楠の洞洞木
- ⑬ おしもり塚
- ⑭ 妻のクス(国指定天然記念物)
- ⑮ 生産河
- ⑯ 日下部塚
- ⑰ 相撲場
- ⑱ 西都祖霊神社



マークエステル氏(仏人画家)の寄贈画

本殿